

仏教の基本的な心構えは『嘘ウソをつかない・盗まない・傷キズつけない』です。子供の言動を正す時に『正直に答えなさい』と。正直にだと主感的(道徳的)になり、多少の嘘も許されるかなと感じられ『嘘も方便』にと使われそうです。正直にではなく、『正確に』とより客観的(仏教的)にするべきでしょう。

少し表現が甘くなると、嘘が多くなります。人の言葉に「～のようだ」「～だそうだ」「～らしいよ」とか「絶対に・本当に・皆んな・誰でも・100%(120%)・・・」「あたりまえ・常識だ・・・」挙げ句は「間違マチガい無い・嘘は言えません・嘘ついたことがない・・・」と。

物事は、自分自身の力で、よく見て、よく考えて、より正確な判断ができるように。人の言動に惑マドわされる事のないように。